

令和 4年度 工事成績優良業者対象工事
山下町(5工区)雨水管布設工事

工事設計図書
(当初設計)

工事番号

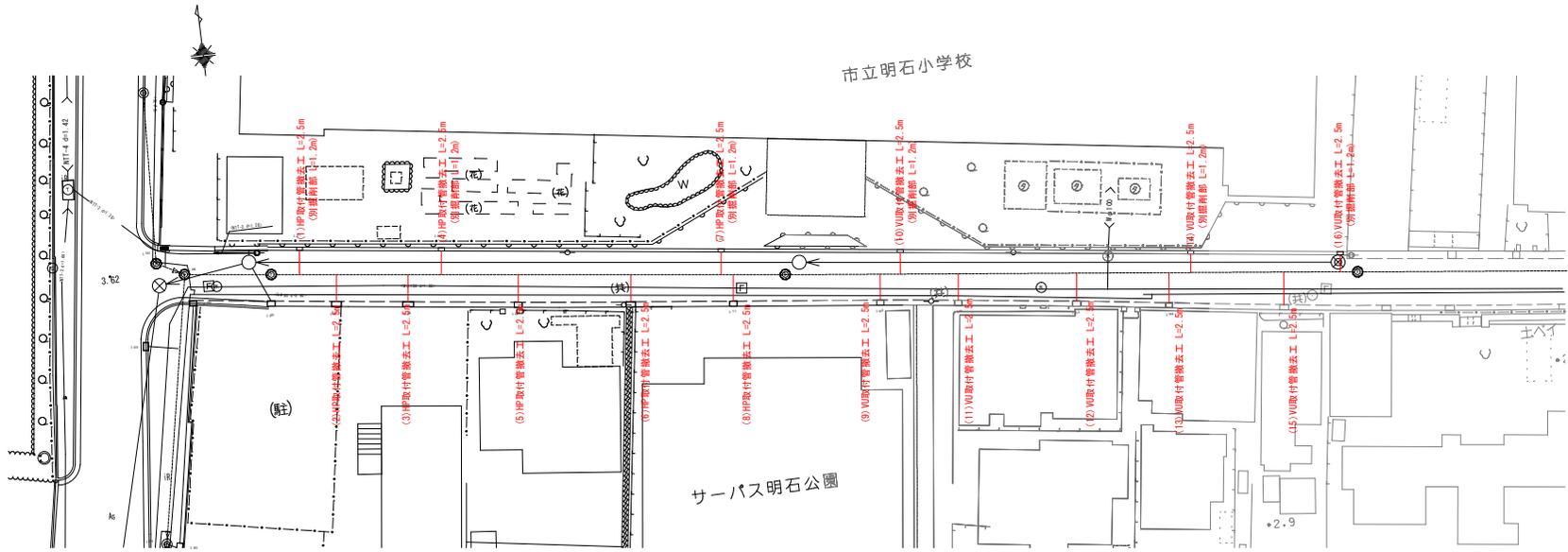
路線名等

工事箇所 明石市山下町 地内

工 種

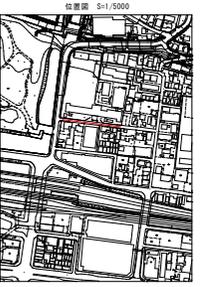
工 事 費				概 要
	実 施 (前回変更)	今 回 変 更	増 減 額	管路布設工 L=108.0m 内径φ500mm管布設工 L= 54.0m 内径φ700mm管布設工 L= 54.0m マンホール設置工 N= 2箇所 取付管設置工 N=16箇所 埋蔵文化財調査工 A=118.8m2 付帯工 1 式
設 計 額 (内消費税額)	円 (円)	円 (円)	円 (円)	
請 負 額 (内消費税額)	円 (円)	円 (円)	円 (円)	
執行方法	請負	施工日数 または 施工期限	令和5年3月31日	
(起工理由)				前払い 40%以下 中間前払い 20%以下 部分払い 3回

平面图 S=1:250



凡例

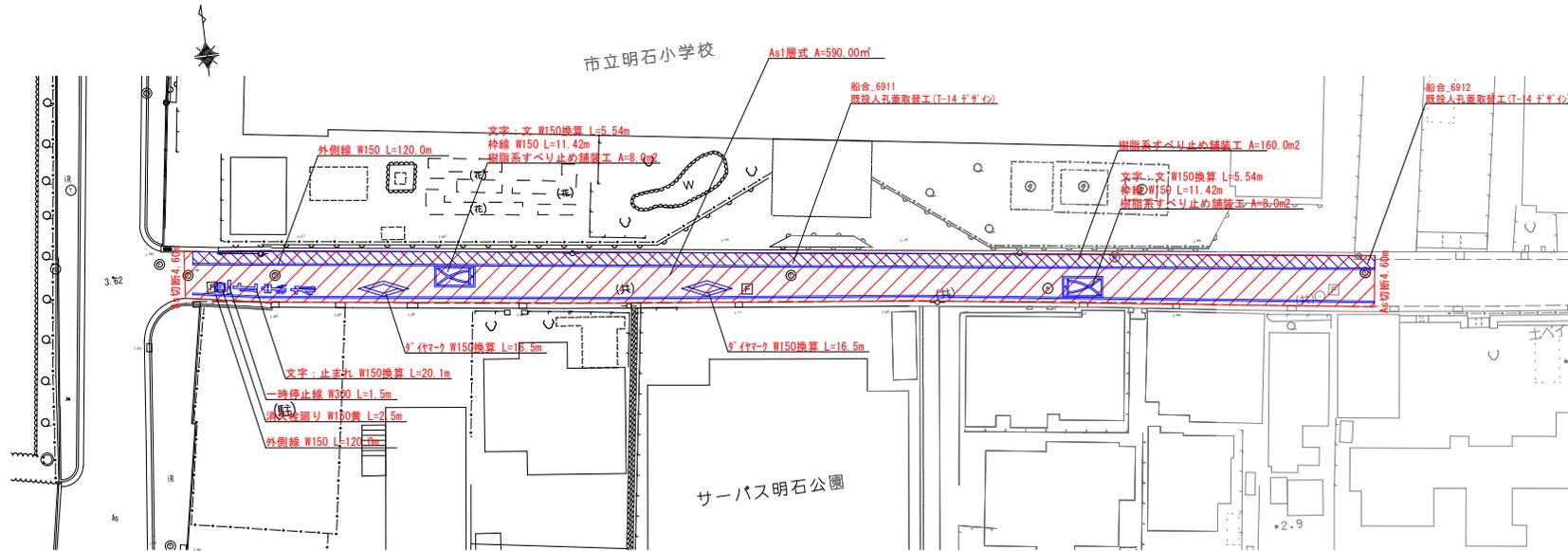
記号	種別
⊗	1号検入孔 (内径φ400)
⊘	2号検入孔 (内径φ400)
⊙	3号検入孔 (内径φ400)
⊚	4号検入孔 (内径φ400)
⊛	5号検入孔 (内径φ400)
⊜	6号検入孔 (内径φ400)
⊝	7号検入孔 (内径φ400)
⊞	8号検入孔 (内径φ400)
⊠	9号検入孔 (内径φ400)
⊡	10号検入孔 (内径φ400)
⊢	11号検入孔 (内径φ400)
⊣	12号検入孔 (内径φ400)
⊤	13号検入孔 (内径φ400)
⊥	14号検入孔 (内径φ400)
⊦	15号検入孔 (内径φ400)
⊧	16号検入孔 (内径φ400)
⊨	17号検入孔 (内径φ400)
⊩	18号検入孔 (内径φ400)
⊪	19号検入孔 (内径φ400)
⊫	20号検入孔 (内径φ400)
⊬	21号検入孔 (内径φ400)
⊭	22号検入孔 (内径φ400)
⊮	23号検入孔 (内径φ400)
⊯	24号検入孔 (内径φ400)
⊰	25号検入孔 (内径φ400)
⊱	26号検入孔 (内径φ400)
⊲	27号検入孔 (内径φ400)
⊳	28号検入孔 (内径φ400)
⊴	29号検入孔 (内径φ400)
⊵	30号検入孔 (内径φ400)
⊶	31号検入孔 (内径φ400)
⊷	32号検入孔 (内径φ400)
⊸	33号検入孔 (内径φ400)
⊹	34号検入孔 (内径φ400)
⊺	35号検入孔 (内径φ400)
⊻	36号検入孔 (内径φ400)
⊼	37号検入孔 (内径φ400)
⊽	38号検入孔 (内径φ400)
⊾	39号検入孔 (内径φ400)
⊿	40号検入孔 (内径φ400)
⋄	41号検入孔 (内径φ400)
⋅	42号検入孔 (内径φ400)
⋆	43号検入孔 (内径φ400)
⋇	44号検入孔 (内径φ400)
⋈	45号検入孔 (内径φ400)
⋉	46号検入孔 (内径φ400)
⋊	47号検入孔 (内径φ400)
⋋	48号検入孔 (内径φ400)
⋌	49号検入孔 (内径φ400)
⋍	50号検入孔 (内径φ400)
⋎	51号検入孔 (内径φ400)
⋏	52号検入孔 (内径φ400)
⋐	53号検入孔 (内径φ400)
⋑	54号検入孔 (内径φ400)
⋒	55号検入孔 (内径φ400)
⋓	56号検入孔 (内径φ400)
⋔	57号検入孔 (内径φ400)
⋕	58号検入孔 (内径φ400)
⋖	59号検入孔 (内径φ400)
⋗	60号検入孔 (内径φ400)
⋘	61号検入孔 (内径φ400)
⋙	62号検入孔 (内径φ400)
⋚	63号検入孔 (内径φ400)
⋛	64号検入孔 (内径φ400)
⋜	65号検入孔 (内径φ400)
⋝	66号検入孔 (内径φ400)
⋞	67号検入孔 (内径φ400)
⋟	68号検入孔 (内径φ400)
⋠	69号検入孔 (内径φ400)
⋡	70号検入孔 (内径φ400)
⋢	71号検入孔 (内径φ400)
⋣	72号検入孔 (内径φ400)
⋤	73号検入孔 (内径φ400)
⋥	74号検入孔 (内径φ400)
⋦	75号検入孔 (内径φ400)
⋧	76号検入孔 (内径φ400)
⋨	77号検入孔 (内径φ400)
⋩	78号検入孔 (内径φ400)
⋪	79号検入孔 (内径φ400)
⋫	80号検入孔 (内径φ400)
⋬	81号検入孔 (内径φ400)
⋭	82号検入孔 (内径φ400)
⋮	83号検入孔 (内径φ400)
⋯	84号検入孔 (内径φ400)
⋰	85号検入孔 (内径φ400)
⋱	86号検入孔 (内径φ400)
⋲	87号検入孔 (内径φ400)
⋳	88号検入孔 (内径φ400)
⋴	89号検入孔 (内径φ400)
⋵	90号検入孔 (内径φ400)
⋶	91号検入孔 (内径φ400)
⋷	92号検入孔 (内径φ400)
⋸	93号検入孔 (内径φ400)
⋹	94号検入孔 (内径φ400)
⋺	95号検入孔 (内径φ400)
⋻	96号検入孔 (内径φ400)
⋼	97号検入孔 (内径φ400)
⋽	98号検入孔 (内径φ400)
⋾	99号検入孔 (内径φ400)
⋿	100号検入孔 (内径φ400)



明石市公共下水道

工事名	工事種別改良整備計画工事 山下町(5工区)雨水管取替工事
事業年度	昭和三十二年
工区	昭和三十二年
図号	昭和三十二年
縮尺	1:250

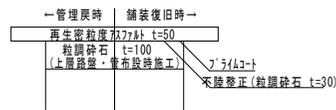
平面図 S=1:250



市道車道
7x7x7舗装As1層式

番号	面積(m ²)
合計	590.00

道路復旧構成図



舗装切断工
市道・車道(7x7x7) t=5cm
L=4.60+4.60=9.20m

区画線工

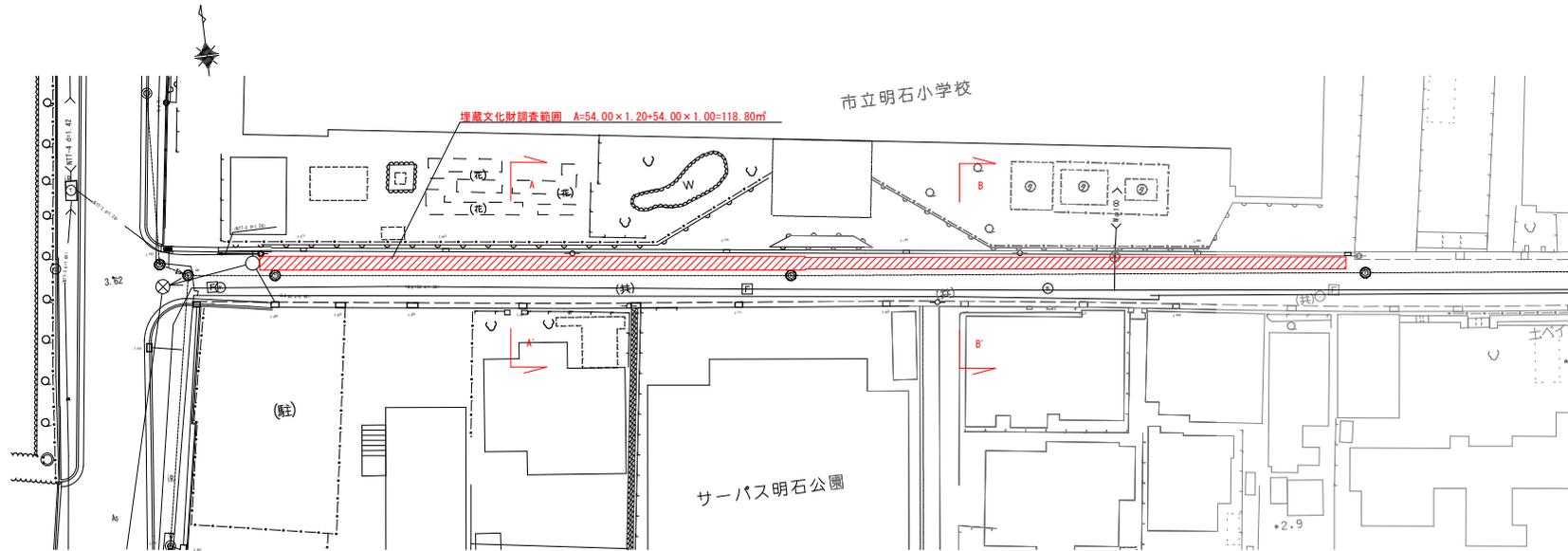
項目	規格	単位	計算式	合計
実線白	15cm	m	120.0+120.0+11.42+11.42	262.84
	文字・記号 W150換算	m	20.1+16.5+16.5+5.54+5.54	64.18
	30cm	m	1.5	1.50
	実線黄	m	2.5	2.50
樹根系すべり止め舗装工	RPN-301	m ²	160.0+8.0+8.0	176.00



明石市公共下水道

工事名	三季河橋排水施設改善工事 山手町(老工)南東管線工事		
図面番号	舗装復旧作業図		
施工年度	期	図	用
年度	号	号	尺
	3	4	1:100
			1:250

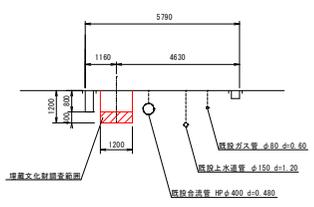
平面图 S=1:250



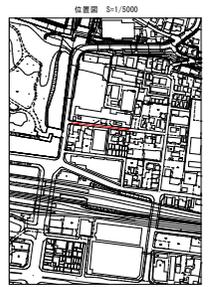
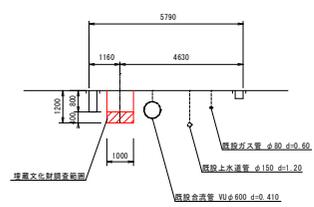
凡例

記号	種別
○	1号埋蔵点
○	2号埋蔵点
○	3号埋蔵点
○	4号埋蔵点
○	5号埋蔵点
○	6号埋蔵点
○	7号埋蔵点
○	8号埋蔵点
○	9号埋蔵点
○	10号埋蔵点
○	11号埋蔵点
○	12号埋蔵点
○	13号埋蔵点
○	14号埋蔵点
○	15号埋蔵点
○	16号埋蔵点
○	17号埋蔵点
○	18号埋蔵点
○	19号埋蔵点
○	20号埋蔵点
○	21号埋蔵点
○	22号埋蔵点
○	23号埋蔵点
○	24号埋蔵点
○	25号埋蔵点
○	26号埋蔵点
○	27号埋蔵点
○	28号埋蔵点
○	29号埋蔵点
○	30号埋蔵点
○	31号埋蔵点
○	32号埋蔵点
○	33号埋蔵点
○	34号埋蔵点
○	35号埋蔵点
○	36号埋蔵点
○	37号埋蔵点
○	38号埋蔵点
○	39号埋蔵点
○	40号埋蔵点
○	41号埋蔵点
○	42号埋蔵点
○	43号埋蔵点
○	44号埋蔵点
○	45号埋蔵点
○	46号埋蔵点
○	47号埋蔵点
○	48号埋蔵点
○	49号埋蔵点
○	50号埋蔵点
○	51号埋蔵点
○	52号埋蔵点
○	53号埋蔵点
○	54号埋蔵点
○	55号埋蔵点
○	56号埋蔵点
○	57号埋蔵点
○	58号埋蔵点
○	59号埋蔵点
○	60号埋蔵点
○	61号埋蔵点
○	62号埋蔵点
○	63号埋蔵点
○	64号埋蔵点
○	65号埋蔵点
○	66号埋蔵点
○	67号埋蔵点
○	68号埋蔵点
○	69号埋蔵点
○	70号埋蔵点
○	71号埋蔵点
○	72号埋蔵点
○	73号埋蔵点
○	74号埋蔵点
○	75号埋蔵点
○	76号埋蔵点
○	77号埋蔵点
○	78号埋蔵点
○	79号埋蔵点
○	80号埋蔵点
○	81号埋蔵点
○	82号埋蔵点
○	83号埋蔵点
○	84号埋蔵点
○	85号埋蔵点
○	86号埋蔵点
○	87号埋蔵点
○	88号埋蔵点
○	89号埋蔵点
○	90号埋蔵点
○	91号埋蔵点
○	92号埋蔵点
○	93号埋蔵点
○	94号埋蔵点
○	95号埋蔵点
○	96号埋蔵点
○	97号埋蔵点
○	98号埋蔵点
○	99号埋蔵点
○	100号埋蔵点

断面 A-A' S=1:100



断面 B-B' S=1:100



明石市公共下水道

工事名	工事種別: 埋蔵文化財調査工事 山手町(古工)雨水管取替工事		
図面番号	埋蔵文化財調査平面図		
施工年度	4	期次	1/100
図面番号	4	期次	1/250

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
本工事費					
管路					
管きょ工	(管径500mm)				
管路土工					
管路掘削		式		1	
舗装版破碎(アスファルト舗装版)		m2		54	
機械掘削工		m3		107	
管路埋戻		式		1	
埋戻工	再生切込砕石	m3		72	
発生土処理		式		1	
残塊処分工 (アスファルト)		m3		2	
残土処分工 (土砂)		m3		107	
管布設工					
硬質塩化ビニル管		式		1	
硬質塩化ビニル管布設工	径 500mm	m		52.9	
管基礎工					
砂基礎		式		1	
砂基礎工 (機械投入)		m3		27	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
管路土留工					
アルミ矢板土留		式		1	
アルミ矢板建込引抜工(両側分)		m		54	
土留支保工		式		1	
土留支保工(設置+撤去)		m		54	
鋼材賃料		式		1	
アルミ矢板賃料					
アルミ矢板整備費(基本料)					
アルミ製支保工賃料(軽量鋼矢板2.5m用)					
管きよ工	(管径700mm)				
管路土工					
管路掘削		式		1	
舗装版破碎(アスファルト舗装版)		m2		64	
機械掘削工		m3		157	
管路埋戻		式		1	
埋戻工	再生切込砕石	m3		98	
発生土処理		式		1	
残塊処分工(アスファルト)		m3		3	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
残土処分工(土砂)		m ³		157	
管布設工					
強化プラスチック複合管		式		1	
強化プラスチック管布設工	径 700mm	m		52.8	
管基礎工					
砂基礎		式		1	
砂基礎工(機械投入)		m ³		40	
管路土留工					
アルミ矢板土留		式		1	
アルミ矢板建込引抜工(両側分)		m		54	
土留支保工		式		1	
土留支保工(設置+撤去)		m		54	
鋼材賃料		式		1	
アルミ矢板賃料					
アルミ矢板整備費(基本料)					
アルミ製支保工賃料(軽量鋼矢板3.0m用)					
マンホール工					
組立マンホール工					

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
組立1号マンホール		式		1	
組立マンホール設置工	1号 マンホール深さ3m以下	箇所		1	
車道用 デザイン蓋・枠 T-14 φ600		個		1	
蓋取付ボルト 300mm (3ヶ1組)	調整ブロック200mm用	セット		1	
調整リング 組立式(V型)	600×50mm	個		1	
調整リング 組立式(V型)	600×150mm	個		1	
転落防止はしご		台		1	
1号斜壁 組立式(V型)	600×900×600mm	個		1	
1号底付	900×1000mm	個		1	
底部工 [組立式]		箇所		1	
可とう継手 VUφ500 (拡張型)	塩ビ管用	個		1	
組立2号マンホール		式		1	
組立マンホール設置工	2号 マンホール深さ4m以下	箇所		1	
削孔代組立式(V型)	φ500mm用	箇所		1	
車道用 デザイン蓋・枠 T-14 φ600		個		1	
蓋取付ボルト 250mm (3ヶ1組)	調整ブロック150mm用	セット		1	
調整リング 組立式(V型)	600×80mm	個		1	
調整リング 組立式(V型)	600×50mm	個		1	

契約数量表

頁0-0005/0013

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
転落防止はしご		台		1	
2号床版ブロック	200×600×1440mm	個		1	
2号底付	1200×1900mm	個		1	
底部工 [組立式]		箇所		1	
可とう接手 FRPMφ700(拡張型)		個		1	
可とう継手 VUφ500(拡張型)	塩ビ管用	個		1	
取付管およびます工					
管路土工					
管路掘削		式		1	
舗装版破碎積込(小規模土工)		m2		24	
床掘り	土砂 上記以外(小規模)	m3		20	
管路埋戻		式		1	
埋戻し		m3		8	
発生土処理		式		1	
残塊処分工(アスファルト)		m3		1	
残土処分工(土砂)		m3		20	
取付管布設工					
取付管(塩ビ管)		式		1	

契約数量表

頁0-0006/0013

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
取付管布設および支管取付工	管径 200mm, コンクリート製・陶製以外の管	箇所		16	
付帯工					
人孔付帯工					
既設人孔連絡工		式		1	
防護コンクリート工	FRPM φ 700	箇所		1	
舗装仮復旧工					
仮復旧		式		1	
表層(車道・路肩部)	t = 5 0 mm	m2		142	
舗装撤去工					
舗装版切断		式		1	
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		296	
舗装版破碎		式		1	
舗装版破碎(アスファルト舗装版)		m2		142	
殻運搬処理		式		1	
残塊処分工(アスファルト)		m3		7	
舗装復旧工					
不陸修正		式		1	
不陸修正	補足材料->有り(29mm以上34mm未満)	m2		142	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
上層路盤		式		1	
上層路盤(車道・路肩部)	粒調碎石 M-25, M-30, M-40	m2		142	
表層		式		1	
表層(車道・路肩部)	t = 5 0 mm	m2		142	
区画線工					
溶融式区画線		式		1	
区画線設置 [溶融式]	実線 15cm t=1.5mm	m		120	
樹脂系すべり止め舗装工	RPN-301	m2		81	
仮設工					
交通管理工					
交通誘導警備員		式		1	
交通誘導警備員 B					
交通誘導警備員 B					
仮設材運搬費		式		1	
仮設材等の積込み・取卸し					
仮設材等の運搬					
仮設材等の運搬					

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
付帯工事費(1)					
管路					
マンホール工					
組立マンホール工					
既設人孔蓋取替工		式		1	
蓋(受枠とも)及び調整コンクリートブロック撤去工		箇所		2	
蓋(受枠とも)及び調整コンクリートブロック据付工	無収縮モルタル有	箇所		2	
車道用: デザイン蓋・枠 T-14 φ600		個		2	
転落防止はしご		台		2	
調整リング 組立式(V型)	600×80mm	個		1	
蓋取付ボルト 100mm (3ヶ1組)	調整ブロックなし用	セット		1	
蓋取付ボルト 200mm (3ヶ1組)	調整ブロック100mm用	セット		1	
付帯工					
舗装仮復旧工					
仮復旧		式		1	
表層(車道・路肩部)	t = 50mm	m2		6	
舗装撤去工					
舗装版切断		式		1	

契約数量表

頁0-0009/0013

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
舗装版切断 (アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		29	
舗装版破碎		式		1	
舗装版破碎 (アスファルト舗装版)		m2		447	
殻運搬処理		式		1	
残塊処分工 (アスファルト)		m3		22	
舗装復旧工					
不陸整正		式		1	
不陸整正	補足材料->有り (29mm以上34mm未満)	m2		447	
上層路盤		式		1	
上層路盤 (車道・路肩部)	粒調碎石 M-25, M-30, M-40	m2		6	
表層		式		1	
表層 (車道・路肩部)	t = 5 0 mm	m2		447	
区画線工					
熔融式区画線		式		1	
区画線設置 [熔融式]	実線 15cm t=1.5mm	m		142	
区画線設置 [熔融式]	矢印・記号・文字 15cm換算 t=1.5mm	m		64	
区画線設置 [熔融式]	実線 30cm t=1.5mm	m		1	
区画線設置 [熔融式]	実線 15cm t=1.5mm	m		2	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
樹脂系すべり止め舗装工	RPN-301	m ²		95	
既設構造物撤去工					
管路掘削		式		1	
舗装版破碎積込(小規模土工)		m ²		6	
床掘り	土砂 上記以外(小規模)	m ³		2	
既設管撤去		式		1	
暗渠排水管	撤去	m		20	
鉄筋コンクリート管撤去工	HP φ 150	m		20	
VU閉塞キャップ	φ 150用	個		8	
HP閉塞キャップ	HP φ 400× φ 150用	個		8	
管路埋戻		式		1	
埋戻し		m ³		3	
発生土処理		式		1	
残塊処分工(アスファルト)		m ³		0.3	
残土処分工(土砂)		m ³		2	
残塊処分工(鉄筋コンクリート)		m ³		0.3	
廃プラスチック処分工		t		0.08	
仮設工					

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
交通管理工					
交通誘導警備員		式		1	
交通誘導警備員 B					
交通誘導警備員 B					
試掘調査工		式		1	
試掘調査工					

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
附帯工事費(2)					
発掘調査					
埋蔵文化財調査工					
調査土工					
調査掘削		式		1	
舗装版破碎(アスファルト舗装版)		m2		118	
床掘り	土砂 平均施工幅1m以上2m未満	m3		89	
調査埋戻		式		1	
埋戻し	最大埋戻幅1m以上4m未満	m3		136	
埋戻し		m3		15	
発生土処理		式		1	
残塊処分工(アスファルト)		m3		5	
調査工					
埋蔵文化財調査		式		1	
発掘調査工		m3		47	
付帯工					
舗装仮復旧工					
仮復旧		式		1	

数量計算総括表

工事成績優良業者対象工事 山下町(5工区)雨水管布設工事(本体)

明石市都市局下水道室下水道整備課

管理情報

情報名称	当初	変更
年度	令和4年度	
発注工事名	工事成績優良業者対象工事 山下町(5工区)雨水管布設工事(本体)	
施工場所	明石市山下町地内	
発注者	明石市都市局下水道室下水道整備課	

開削工数量総括表

雨水:本管:VUφ500				
名称	集計単位	単位	合計数量	数量
下流側路線番号				470-1
// 接続番号				No. 1
上流側路線番号				471
// 接続番号				No. 2
■開削工				
区間延長		m	54.00	54.00
平均掘削深		m		2.039
掘削幅		m		1.00
■管布設工				
管布設延長		m	52.95	52.95
管体延長		m	52.95	52.95
管本数		本	13.2	13.24
下流人孔継手		本	0	0
上流人孔継手		本	0	0
副管用継手		本	0	0
■管基礎工				
基礎数量	機械投入: VUφ500: 水砕スラグ 360	m3	27.4	27.43
■その他管渠布設工				
■土工				
■舗装掘削工				
舗装直接掘削積込	AS: 0.05	m2	54.0	54.00
がら処分	AS: 処分	m3	2.7	2.70
■掘削工				
全掘削土量		m3	107.4	107.46
土留掘削土量	土留	m3	107.4	107.46
掘削土量	土留: 砂・砂質土	m3	107.4	107.46
■埋戻し工				
BC区分埋戻し量	土留: 碎石: 購入	m3	72.6	72.60
埋戻し量合計	土留: 碎石: 購入	m3	72.6	72.60
■残土処分工				
処分量	土留: 砂・砂質土: 処分	m3	107.4	107.46
■その他土工				
■土留工				
■矢板打込み工				
■矢板建込み工				
土留延長	アルミ: 2.5: 100	m	54.00	54.00

開削工数量総括表

雨水:本管:VUφ500				
名称	集計単位	単位	合計数量	数量
下流側路線番号				470-1
// 接続番号				No. 1
上流側路線番号				471
// 接続番号				No. 2
■ハ 初建込み工				
■素掘				
素掘延長		m	0.00	0.00
■支保工設置				
土留延長	アルミ: 2.5: 2段: 軽金属120×75	m	54.00	54.00
建込支保工設置撤去	2段	m	54.00	54.00
■その他開削工				

開削工数量総括表 (2)

雨水:本管:FRP φ 700二種				
名称	集計単位	単位	合計数量	数量
下流側路線番号				470
// 接続番号				No. 0
上流側路線番号				470-1
// 接続番号				No. 1
■開削工				
区間延長		m	54.00	54.00
平均掘削深		m		2.482
掘削幅		m		1.20
■管布設工				
管布設延長		m	52.80	52.80
管体延長		m	52.80	52.80
管本数		本	12	12
受口短管		本	1	1
副管用受口短管		本	0	0
差口短管		本	1	1
調整管	3.5m	本	1	1
■管基礎工				
基礎数量	機械投入: FRP φ 700: 水砕スラグ [®] 360	m3	40.9	40.91
■その他管渠布設工				
■土工				
■舗装掘削工				
舗装直接掘削積込	AS: 0.05	m2	64.8	64.80
がら処分	AS: 処分	m3	3.2	3.24
■掘削工				
全掘削土量		m3	157.4	157.46
土留掘削土量	土留	m3	157.4	157.46
掘削土量	土留: 砂・砂質土	m3	157.4	157.46
■埋戻し工				
BC区分埋戻し量	土留: 砕石: 購入	m3	98.7	98.71
埋戻し量合計	土留: 砕石: 購入	m3	98.7	98.71
■残土処分工				
処分量	土留: 砂・砂質土: 処分	m3	157.4	157.46
■その他土工				
■土留工				
■矢板打込み工				

開削工数量総括表 (2)

雨水:本管:FRP φ700二種				
名称	集計単位	単位	合計数量	数量
下流側路線番号				470
// 接続番号				No.0
上流側路線番号				470-1
// 接続番号				No.1
■矢板建込み工				
土留延長	アルミ: 3: 100	m	54.00	54.00
■ハコ建込み工				
■素掘				
素掘延長		m	0.00	0.00
■支保工設置				
土留延長	アルミ: 3: 2段: 軽金属120×75	m	54.00	54.00
建込支保工設置撤去	2段	m	54.00	54.00
■その他開削工				

組立人孔築造工

雨水:U型 2号				
名称	集計単位	単位	合計数量	数量
路線番号				470
接続番号				No. 0
■組立人孔築造工				
■人孔設置工				
人孔深		m		2.533
■上部工				
■ブロック				
■底部工				
■管補強工				
■その他				

組立人孔築造工 (2)

雨水:V型2号				
名称	集計単位	単位	合計数量	数量
路線番号				470-1
接続番号				No. 1
■組立人孔築造工				
■人孔設置工				
人孔深		m		2.240
人孔設置工	5m以下	箇所	1	1
削孔工	VU φ 500	箇所	1	1
■上部工				
蓋設置工	T14	箇所	1	1
調整工		箇所	1	1
蓋取付ボルト	調整150mm用	組	1	1
調整リング	H80	組	1	1
	H50	組	1	1
セフティラダー		箇所	1	1
■ブロック				
斜壁ブロック	H200床版	組	1	1
躯体ブロック (底付等)	H1900	組	1	1
■底部工				
インバート		箇所	1	1
碎石	碎石	箇所	1	1
■管補強工				
管補強工	ジョイントパーツ: FRP φ 700	箇所	1	1
	ジョイントパーツ: VU φ 500	箇所	1	1
■その他				

組立人孔築造工 (3)

雨水:V型1号				
名称	集計単位	単位	合計数量	数量
路線番号				471
接続番号				No. 2
■組立人孔築造工				
■人孔設置工				
人孔深		m		1.817
人孔設置工	3m以下	箇所	1	1
■上部工				
蓋設置工	T14	箇所	1	1
調整工		箇所	1	1
蓋取付ボルト	調整200mm超用	組	1	1
調整リング	H50	組	1	1
	H150	組	1	1
セフティラダー		箇所	1	1
■ブロック				
斜壁ブロック	H600	組	1	1
躯体ブロック (底付等)	H1000	組	1	1
■底部工				
インバート		箇所	1	1
砕石	砕石	箇所	1	1
■管補強工				
管補強工	ジョイントパーツ: VUφ500	箇所	1	1
■その他				

柵設置工

雨水					
名称	集計単位	単位	合計数量	数量	
下流側路線番号				470	470-1
〃 接続番号				No.0	No.1
上流側路線番号				470-1	471
〃 接続番号				No.1	No.2
■柵設置工					
■取付管工					
管布設延長	VUφ200: 2.0m未満	m	44.04	21.62	22.42
直管	VUφ200	本	13.9	7.10	6.86
曲管	FRPφ700: VUφ200: 45°	本	8	8	
	VUφ500: VUφ200: 45°	本	8		8
カー	VUφ200	個	0	0	0
キャップ	VUφ200	個	0	0	0
■取付管基礎工					
基礎数量	VUφ200: 水砕スラック [®] 360	m ³	8.5	4.17	4.33
■取付管土工等					
■舗装掘削工					
舗装直接掘削積込	AS: 0.05	m ²	24.1	11.82	12.30
カー処分	AS: 処分	m ³	1.2	0.59	0.64
■土工掘削工					
掘削土量	砂・砂質土	m ³	20.5	10.08	10.43
■埋戻し工					
BC区分埋戻し量	碎石: 購入	m ³	8.0	3.94	4.10
埋戻し量合計	碎石: 購入	m ³	8.0	3.94	4.10
■残土処分工					
処分	砂・砂質土: 処分	m ³	20.5	10.08	10.43
■その他					

枺設置工確認

雨水					
名称	集計単位	単位	合計数量	数量	
下流側路線番号				470	470-1
// 接続番号				No. 0	No. 1
上流側路線番号				470-1	471
// 接続番号				No. 1	No. 2
■ 枺設置確認					
管布設延長	NO. 枺 1	m	1.50	1.50	
	NO. 枺 2	m	4.00	4.00	
	NO. 枺 3	m	4.00	4.00	
	NO. 枺 4	m	1.50	1.50	
	NO. 枺 5	m	4.00	4.00	
	NO. 枺 6	m	4.00	4.00	
	NO. 枺 7	m	1.50	1.50	
	NO. 枺 8	m	4.00	4.00	
	NO. 枺 9	m	4.00		4.00
	NO. 枺 1 0	m	1.50		1.50
	NO. 枺 1 1	m	4.00		4.00
	NO. 枺 1 2	m	4.00		4.00
	NO. 枺 1 3	m	4.00		4.00
	NO. 枺 1 4	m	1.50		1.50
	NO. 枺 1 5	m	4.00		4.00
	NO. 枺 1 6	m	1.50		1.50
■ 取付管延長別箇所数					
箇所数	3m未満	箇所	6	3	3
	3m以上5m未満	箇所	10	5	5

区間部付帯工

名称	集計単位	単位	合計数量	数量	
下流側路線番号				470	470-1
〃 接続番号				No. 0	No. 1
上流側路線番号				470-1	471
〃 接続番号				No. 1	No. 2
■ 区間部付帯工					
■ 舗装切断					
本管部 (全体部で集計)	AS: 0.05	m	216.0		
取付管部 (全体部で集計)	AS: 0.05	m	80.4		
■ 仮復旧工					
■ 本管部舗装仮復旧工					
舗装仮復旧	AS: 0.05	m ²	118.8	64.80	54.00
路盤 (全体部で集計)	粒調碎石: 10cm: 0.1	m ²	118.8	64.80	54.00
■ 取付管部舗装仮復旧工					
舗装仮復旧	AS: 0.05	m ²	24.1	11.82	12.30
路盤 (全体部で集計)	粒調碎石: 10cm: 0.1	m ²	24.1	11.82	12.30
■ 合計					
舗装仮復旧	AS: 0.05	m ²	142.9	76.62	66.30
路盤 (全体部で集計)	粒調碎石: 10cm: 0.1	m ²	142.9	76.62	66.30
■ 樹取付管補強工					
■ その他本管部付帯工					
■ その他樹付帯工					

接続部付帯工

U型 2号				
名称	集計単位	単位	合計数量	数量
路線番号				470
接続番号				No. 0
■接続部付帯工				
■既設人孔連絡工				
既設人孔連絡工	FRP φ 700	個所	1	1
■その他人孔付帯工				

全体部付帯工

名称	集計単位	単位	合計数量	
工区全体				
■付帯工				
■舗装本復旧工				
■舗装切断				
区間部	AS: 0.05	m	296.4	
本復旧部	AS: 0.05	m	0.0	
舗装切断合計	AS: 0.05	m	296.4	
■舗装版破碎工				
仮復旧直接掘削積込	AS	m ²	142.9	
舗装直接掘削積込	AS: 0.05	m ²	142.9	
かゝり処分	AS: 処分	m ³	7.1	
■直接掘削工				
■本復旧工				
先行上層路盤	粒調碎石: 10cm: 0.1	m ²	142.9	
表層	密粒AS: 再生プライムコート: 5cm: 0.05	m ²	142.9	
不陸整正	0.03	m ²	142.9	
■L型側溝設置工				
■歩車道ブロック復旧工				
■ウェルポイント設置工				
■道路区画線工				
施工延長	溶融式: 供用: 実線: 白線: 15cm	m	120.00	
	樹脂系すべり止め舗装工	m ²	81.00	
■その他付帯工				

数量計算総括表

工事成績優良業者対象工事 山下町(5工区)雨水管布設工事(附帯1)

明石市都市局下水道室下水道整備課

管理情報

情報名称	当初	変更
年度	令和4年度	
発注工事名	工事成績優良業者対象工事 山下町(5工区)雨水管布設工事(附帯1)	
施工場所	明石市山下町地内	
発注者	明石市都市局下水道室下水道整備課	

全体部付帯工

名称	集計単位	単位	合計数量
工区全体			
■付帯工			
■舗装本復旧工			
■舗装切断			
本復旧部	AS: 0.05	m	9.2
舗装切断合計	AS: 0.05	m	9.2
■舗装版破碎工			
舗装直接掘削積込	AS: 0.05	m ²	447.0
か ^ろ 処分	AS: 処分	m ³	22.3
■直接掘削工			
■本復旧工			
表層	密粒AS: 再生 ^フ ライムコ ^ト : 5cm: 0.05	m ²	447.0
不陸整正	0.03	m ²	447.0
■L型側溝設置工			
■歩車道^フロック復旧工			
■ウェルホ^フイント設置工			
■道路区画線工			
施工延長	溶融式: 供用: 実線: 白線: 15cm	m	142.84
	溶融式: 供用: 文字: 白線: 15cm換算	m	64.18
	溶融式: 供用: 実線: 白線: 30cm	m	1.50
	溶融式: 供用: 実線: 黄線: 15cm	m	2.50
	樹脂系すべり止め舗装工	m ²	95.00
■その他付帯工			

鉄蓋取替集計

		デザインφ 600mm			耐スリップφ 600mm			セーフティ ラダー 個	調整リング				調整ボルト						調整Co高 mm
		T14	T25	受枠	T14	T25	受枠		50mm	80mm	100mm	150mm	なし用	50mm用	100mm用	150mm用	200mm用	250mm用	
		箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所		個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	
φ 6 0 0 鉄 蓋	船合_6911	1		1				1		1					1				50
	船合_6912	1		1				1					1						50
合計/平均		2		2				2		1				1		1			50

単位数量計算書

名称	① HPφ400 取付管部閉塞工		1 式当り		
8 箇所					
<p>内 径 0.400 m</p> <p>外 径 0.470 m</p> <p>平均土被り h= 0.480 m</p> <p>平均掘削深 h= 0.715 m</p> <p>表 層 t= 0.05 m</p> <p>仮復旧工 t= 0.05 m</p> <p>路 盤 t= 0.10 m</p> <p>掘 削 幅 B= 0.30 m</p> <p>区間延長 L= 0.60 m</p> <p style="text-align: center;">管断面積 = 0.173 m²</p>					
工種・種別	細 別	算 式	単位	数 量	8 箇所計
舗装切断工	0 < t ≤ 15cm	0.60 × 1	m	0.60	4.80
舗装掘削積込工	As;t=5cm	0.60 × 0.30	m ²	0.18	1.44
ガラ処分工	Asガラ	0.18 × 0.05	m ³	0.01	0.08
掘 削 工		$(0.715 - 0.050) \times 0.300 \times 0.600$ $- 0.173 / 4 \times 0.600$	m ³	0.09	0.72
閉 塞 板	HP400用	1.0	個	1.00	8.00
埋 戻 工	再生切込碎石	$(0.715 - 0.100 - 0.050) \times 0.300 \times 0.600$ $- 0.173 / 4 \times 0.600$	m ³	0.13	1.04
路 盤 工	粒調碎石 : t=10cm	0.600 × 0.30	m ²	0.18	1.44
仮 復 旧 工	As:t=5cm	0.600 × 0.30	m ²	0.18	1.44

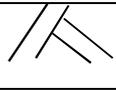
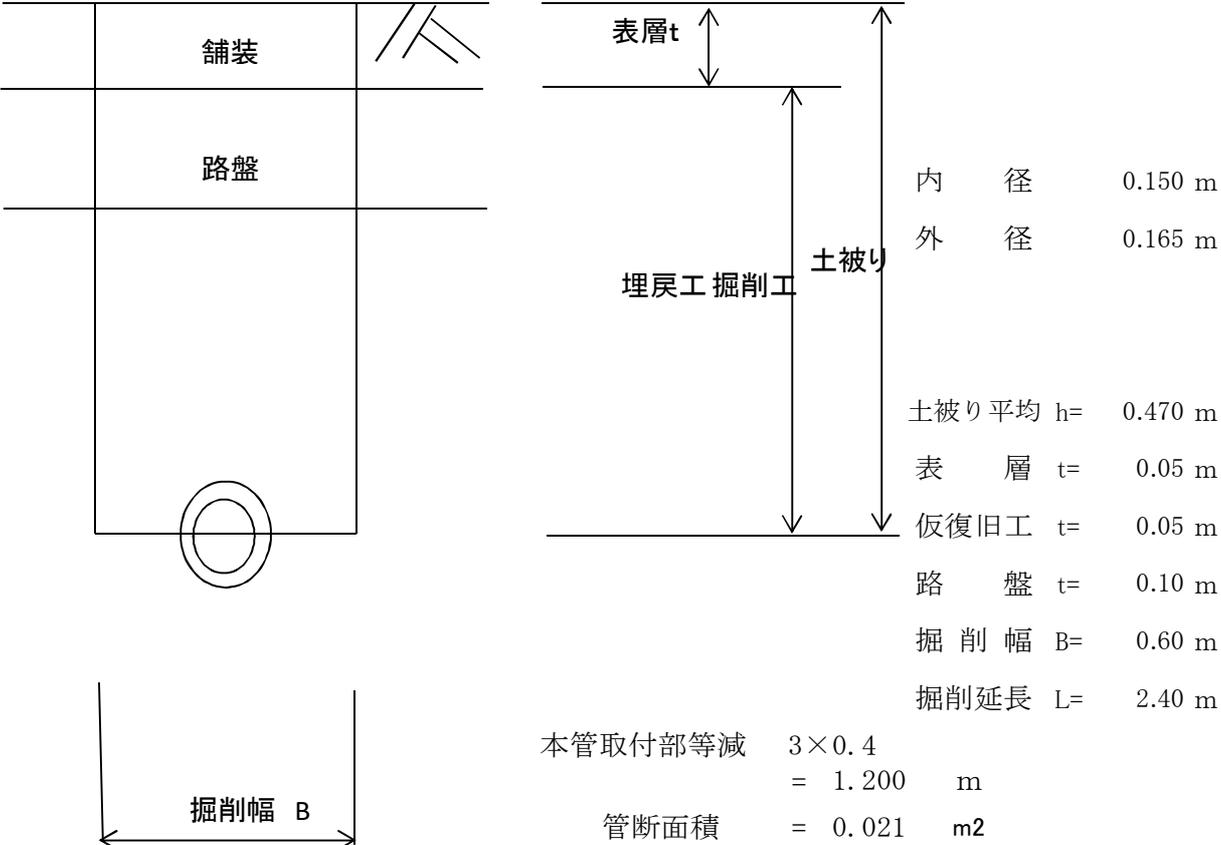
単位数量計算書

名称	② VUφ600 取付管部閉塞工		1式当り		
8 箇所					
			内 径	0.600 m	
			外 径	0.630 m	
			平均土被り h=	0.410 m	
			平均掘削深 h=	0.725 m	
			表 層 t=	0.05 m	
			仮復旧工 t=	0.05 m	
			路 盤 t=	0.10 m	
			掘 削 幅 B=	0.40 m	
			区間延長 L=	0.60 m	
			管断面積 =	0.312 m ²	
工種・種別	細 別	算 式	単位	数 量	8 箇所計
舗装切断工	0 < t ≤ 15cm	0.60 × 1	m	0.60	4.80
舗装掘削積込工	As; t=5cm	0.60 × 0.40	m ²	0.24	1.92
ガラ処分工	Asガラ	0.24 × 0.05	m ³	0.01	0.08
掘 削 工		(0.725 - 0.050) × 0.400 × 0.600 - 0.312 / 4 × 0.600	m ³	0.12	0.96
塩ビキャップ°	φ150用	1.0	個	1.00	8.00
埋 戻 工	再生切込碎石	(0.725 - 0.100 - 0.050) × 0.400 × 0.600 - 0.312 / 4 × 0.600	m ³	0.18	1.44
路 盤 工	粒調碎石 : t=10cm	0.600 × 0.40	m ²	0.24	1.92
仮 復 旧 工	As: t=5cm	0.600 × 0.40	m ²	0.24	1.92

単位数計算書

名 称		③ HPφ150 取付管撤去工		1 式当り		
撤去総延長		20.00 m	取付部	3 箇所	別掘削延長	3.60 m
				内 径 0.150 m 外 径 0.210 m 土被り平均 h= 0.400 m 表 層 t= 0.05 m 仮復旧工 t= 0.05 m 路 盤 t= 0.10 m 掘 削 幅 B= 0.60 m 掘削延長 L= 2.70 m		
掘削幅 B		本管取付部等減 $3 \times 0.3 = 0.900 \text{ m}$ 管断面積 = 0.035 m ²				
工種・種別	細 別	算 式		単位	数 量	
舗装切断工	0 < t ≤ 15cm	2.70 × 2		m	5.40	
舗装掘削積込工	As; t=5cm	2.70 × 0.60		m ²	1.62	
ガラ処分工	Asガラ	1.62 × 0.05		m ³	0.08	
掘 削 工		$(0.400 - 0.050) \times 0.600 \times 2.70$ $- 0.035 / 2 \times 2.700$		m ³	0.52	
埋 戻 工	再生切込碎石	$(0.400 - 0.100 - 0.050) \times 0.600 \times 2.70$ $+ 0.035 / 2 \times 2.700$		m ³	0.45	
路 盤 工	粒調碎石: t=10cm	2.70 × 0.60		m ²	1.62	
仮復旧工	As: t=5cm	2.70 × 0.60		m ²	1.62	
管 撤 去 工	HPφ150	20.00		m	20.00	
管 処 分 工	鉄筋Co	20.00 × (0.035 - 0.018)		m ³	0.34	

単位数計算書

名称	④ VUφ150 取付管撤去工			1式当り	
撤去総延長	20.00 m	取付部	3箇所	別掘削延長	3.60 m
舗装					
路盤		内径	0.150 m	外径	0.165 m
		土被り平均 h=	0.470 m	表層 t=	0.05 m
		仮復旧工 t=	0.05 m	路盤 t=	0.10 m
		掘削幅 B=	0.60 m	掘削延長 L=	2.40 m
		本管取付部等減	3 × 0.4 = 1.200 m	管断面積	= 0.021 m ²
工種・種別	細別	算式	単位	数量	
舗装切断工	0 < t ≤ 15cm	2.40 × 2	m	4.80	
舗装掘削積込工	As; t=5cm	2.40 × 0.60	m ²	1.44	
ガラ処分工	Asガラ	1.44 × 0.05	m ³	0.07	
掘削工		(0.470 - 0.050) × 0.600 × 2.40 - 0.021 / 2 × 2.400	m ³	0.58	
埋戻工	再生切込碎石	(0.470 - 0.100 - 0.050) × 0.600 × 2.40 + 0.021 / 2 × 2.400	m ³	0.49	
路盤工	粒調碎石: t=10cm	2.40 × 0.60	m ²	1.44	
仮復旧工	As: t=5cm	2.40 × 0.60	m ²	1.44	
管撤去工	VUφ150	20.00	m	20.00	
管処分工	廃プラ	20.00 × 3.941	kg	78.82	

数量計算総括表

工事成績優良業者対象工事 山下町(5工区)雨水管布設工事(附帯2)

明石市下水道室下水道整備課

単位数計算書

名称	① 埋蔵文化財調査工		1式当り	
工種・種別	細別	算式	単位	数量
舗装掘削積込工	As;t=5cm	54.00×1.20	m ²	64.80
ガラ処分工	Asガラ	64.80×0.05	m ³	3.24
掘削工		$(1.200 - 0.050 - 0.400) \times 1.200 \times 54.00$	m ³	48.60
調査工		$0.400 \times 1.200 \times 54.00$	m ³	25.92
埋戻工	流用土	$(1.200 - 0.050) \times 1.200 \times 54.00$	m ³	74.52
埋戻工	再生碎石	$74.520 / 0.900 - (48.60 + 25.92)$	m ³	8.28
仮復旧工	As;t=5cm	54.00×1.20	m ²	64.80

単位数計算書

名 称	② 埋 蔵 文 化 財 調 査 工		1 式 当 り	
<p>掘削深 $h = 1.200$ m 調査高 $h = 0.400$ m 表 層 $t = 0.05$ m 仮復旧工 $t = 0.05$ m 掘削幅 $B = 1.00$ m 掘削延長 $L = 54.00$ m</p>				
工種・種別	細 別	算 式	単 位	数 量
舗装掘削積込工	As;t=5cm	54.00×1.00	m ²	54.00
ガラ処分工	Asガラ	54.00×0.05	m ³	2.70
掘 削 工		$(1.200 - 0.050 - 0.400) \times 1.000 \times 54.00$	m ³	40.50
調 査 工		$0.400 \times 1.000 \times 54.00$	m ³	21.60
埋 戻 工	流用土	$(1.200 - 0.050) \times 1.000 \times 54.00$	m ³	62.10
埋 戻 工	再生砕石	$62.100 / 0.900 - (40.50 + 21.60)$	m ³	6.90
仮 復 旧 工	As:t=5cm	54.00×1.00	m ²	54.00

工事成績優良業者対象工事
山下町(5工区)雨水管布設工事

特記仕様書

明石市都市局下水道室下水道整備課

特記仕様書

工 事 名 工事成績優良業者対象工事 山下町(5工区)雨水管布設工事

工 事 場 所 明石市山下町 地内

本工事の工期は令和5年3月31日までとする。
(ただし、本件について国庫補助事業の繰越承認等がされた場合は、工期を令和5年4月28日までとする予定である。)

本仕様書は、明石市都市局下水道室下水道整備課が発注する『工事成績優良業者対象工事 山下町(5工区)雨水管布設工事』に適用する。

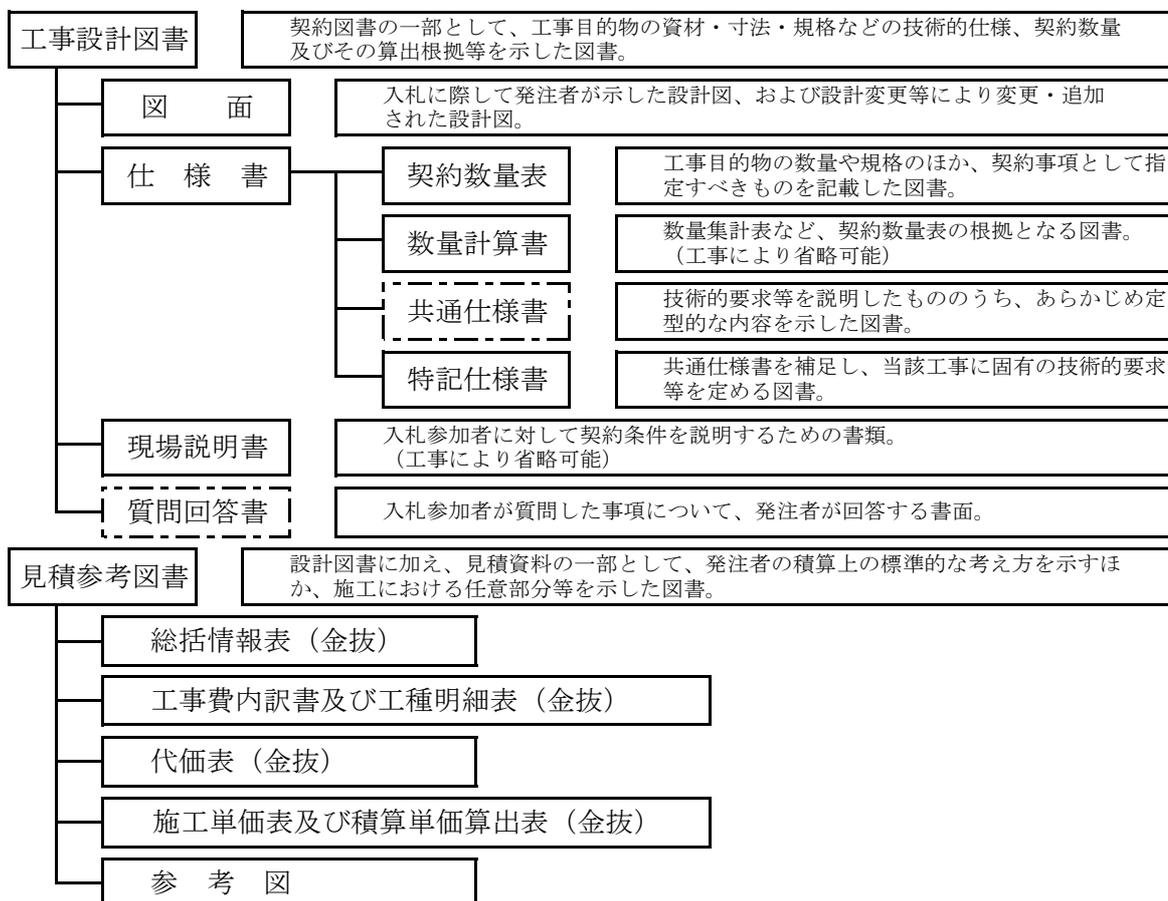
仕様書

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、次の図書による。

- ※ 兵庫県県土整備部「土木工事請負必携（平成29年度最新版）」
- ※ 兵庫県県土整備部「土木工事共通仕様書（平成29年度最新版）」
- ※ 兵庫県県土整備部「土木工事施工管理基準（平成29年度最新版）」
- ※ 兵庫県県土整備部「小型構造物標準図集（平成25年12月）」

仕様書

- 本工事においては、明石市工事請負契約約款 第1条に規定するものを設計図書とする。
- 設計図書の他に交付する「見積参考図書」とは入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積に資するための資料であり、明石市工事請負契約約款 第1条でいう設計図書ではない。従って、「見積参考図書」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、請負者は施工条件及び地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について、請負者の責任において定めるものとする。なお、「見積参考図書」の有効期限は、本工事の入札（見積日）までとする。



☑ 施工範囲における留意事項

工事内容のうち現場条件等により工事内容を変更する可能性がある。よって、工事着手前に工事内容について監督員の確認を受けるものとする。なお、工事内容に変更を伴う場合は、監督員の指示によるものとし、設計変更の対象とする。

施工中に設計変更が生じる場合、必ず事前に監督員と文書にて協議すること。協議文書無き事項は設計変更の対象とはしない。

最終の設計変更に伴う資料については、工期の1ヶ月前までに受注者が十分精査したうえで提出すること。

☑ 設計図書の照査

現地測量は、測量標(仮BM等)、工所用多角点の設置及び用地境界、中心線、縦断、横断等を確認すること。また、特に、排水勾配・舗装縦断勾配においては測量結果を着手前に監督員へ提出すること。

測量結果が設計図書に示されている数値と差異を生じた場合は監督員の指示を受けること。

側溝高等に変更が生じた場合や、その他地元協議等によるものも含め変更に伴う測量・施工図面の修正・新規追加及び数量計算については、受注者の負担により行うものとする。

☑ 埋蔵文化財・有価物件の処理

工事の施工中に埋蔵文化財等を発見した場合は直ちに作業を一時中止し、その取扱いについて監督員の指示を受けること。

現場において発生した有価物件は、そのままの状態に保ち、監督員の指示により処理するものとする。

本工事における埋蔵文化財調査工について、試掘等の結果によっては明石市文化博物館との協議により内容が変更となる可能性がある。変更となる場合は設計変更の対象とする。

- ☑ 公共基準点(基準点、水準点、街区基準点、街区点等)の有無について確認し、監督員に報告すること。また、公共基準点の周辺にて施工する場合は、「明石市公共基準点管理保全要綱」に基づき適正に申請及び復元等の処理をすること。

☑ 安全確保

- ☑ 工事施工に伴う諸手続きは、受注者の責任において関係諸官庁に提出し許可を得ること。
- ☑ 工事の施工にあたって予想される地下埋設物件及び架空線は、管理者と現地立会のうえ、当該物件の位置・深さ(高さ)を確認し、保安対策について十分打合せを行い、事故の発生を防止すること。
- ☑ 試掘調査及び沈下観測孔の設置については、近接する施設の管理者との立ち会い及び協議により実施箇所を決定するものとする。その結果、設計図書と相違が生じた場合は、監督員と協議のうえ、設計変更の対象とする。
- ☑ 既設人孔等に入る時は、人孔内の安全には特に注意し、ガス検知器を用いて3名以上で確認後、作業に着手すること。
- ☑ 受注者の責により地下埋設物件に損害を与えた場合は、すみやかに監督員に報告するとともに関係機関に連絡し応急措置をとり、受注者の負担によりこれを補修しなければならない。
- ☑ 埋設物件等の管理者不明のものがある場合は、監督員に報告し、その処置については、占用企業者全体の立会を求め、管理者を明確にしなければならない。その結果、死管の処置を受注者が企業者より依頼を受けた場合には、文書によってその責任を明確にしておかななければならない。
- ☑ 工事施工のため支障となる道路の付属物並びに占用物件がある場合には、その処置について予め監督員と打合せを行うものとする。
- ☑ 施工にあたっては、第三者に対する安全対策はもとより、作業要領や作業従事者にかかる安全衛生対策、労働災害防止対策に十分配慮するとともに、これら工事中において、降雨等による災害事故が発生しないよう万全の体制を図ること。また、工事現場及びその周辺状況や施設の特性を踏まえて、事故防止対策を講じるよう、施工計画を作成し、工事を実施すること。
- ☑ 当施工範囲には小学校、幼稚園と近接しており、監督員と協議の上、工事着手前に小学校等に対して十分説明を行うこと。また、登下校時においては細心の注意を図って施工すること。

仮設用水、仮設電気

関係部署への申請・届出とも費用はすべて受注者の負担とする。

保険等

明石市契約約款に記載されている保険については必ず加入すること。なお、監督員には保険証の写しを添付した報告書にて報告を行うこと。

工事説明会

監督員の要請がある場合は協力すること。また決定事項に従い作業を行うこと。

事故および苦情

発生した場合は速やかに応対し、処置状況を監督員に連絡すること。

段階確認

受注者は、兵庫県土木工事共通仕様書に定める工種については、事前に立会願を監督員に提出し段階確認を受けなければならない。

境界確認

構造物を境界上に設置する場合は、測量・立会等により境界を確認のうえ設置すること。もし、境界点や境界ラインに構造物が設置されていないと事後発覚した場合は、受注者の負担で再度構造物を設置しなおすこと。

施工計画書の作成

工事着手時まで施工計画書を作成し監督員の確認後作業を行うこと。

工事カルテの提出

請負500万円以上の工事は受注・変更（工期・技術者）・完成時に監督員の確認を受け平日10日以内に登録のこと。

変更時と完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。

後日、「登録内容確認書」を提出すること。

施工体制台帳および施工体系図

作成し速やかに提出すること。また建設業許可証・契約書（下請負契約も含む）の写しも提出すること。なお、本工事に関連する全ての業者に適用する。

施工体制台帳は工事現場に備え付けること。

施工体系図は公衆の見やすい場所に掲示すること。

身分証明

受注者の現場代理人、監理技術者、主任技術者は工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社および社印の入った名札を着用するものとする。

〈名札の例〉

写真 2cm×3cm 程度	氏名	〇〇 〇〇
	工事名	〇〇〇(〇工区)管渠工事
	工期	自 令和〇〇年〇〇月〇〇日 至 令和〇〇年〇〇月〇〇日
	会社名	〇〇建設株式会社
		印

使用建設機械

低騒音型、低振動型建設機械を使用すること。

バックホウ、発動発電機、油圧ユニット、空気圧縮機、ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ、ホイールクレーンについては排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。

施工現場において確認できる写真を撮影し、完成書類として提出すること。

使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第700条の22の2（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。万一、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。

工事関係車輛

夜間駐車及び現場外駐車は行わず適切な管理を行うこと。

足場その他

- 足場及び支保工の安全確認は、チェックリスト等で確認して保管すること。

建設副産物

- 再資源化施設への搬入を要する建設副産物
 - コンクリート塊
 - アスファルト塊
- 下記の書類を提出すること。
 - 再生資源利用(促進)計画書(実施書)を作成する際、建設副産物情報交換システム(COBRIS)を用いて作成し、施工計画書に添付すること。
 - 竣工時には書面の他に、電子媒体も提出すること。
 - 建設リサイクル法第11条に基づく通知を行うため、再生資源利用(促進)計画書を建設副産物情報交換システム(COBRIS)を用いて作成し、監督員に提出すること。

発生材の処分地例及び問合先

本工事は施工箇所が点在する。

積算で採用している処分地は以下の通りであるが、処理施設を指定するものではない。

アスファルト塊	前田道路(株)神戸合材工場	運搬距離 9.7 km
コンクリート塊(有筋)	金田都志(金田商店)	運搬距離 15.2 km
建設発生土	(有)リテラ	運搬距離 15.4 km
建設発生土(小規模)	(有)ハリマ総合開発	運搬距離 19.2 km
廃プラスチック	大阪湾広域臨海環境整備センター播磨基地	運搬距離 13.2 km

- 運搬に際しては、処分地まで飛散しないように留意を行い、直接運搬すること。
- 仮置きを行う場合、保管場所の選定は受注者の責任において行い、保管に要する費用を負担すること。
- 受注者の判断で他処分地を採用した場合でも設計変更の対象とはしない。
- 兵庫県ホームページ「ホーム > まちづくり・環境 > 設計・工事 > 制度・基準 > 積算単価表」に記載されている処分地とすること。
- 建設副産物処理計画書を提出して監督員の確認を得ること。
- 処分が終了したら伝票を提出して監督員の確認を得ること。
- 木くずは、産業廃棄物として取り扱い、チップ化等再利用の促進に努めなければならない。伐採木、伐採根等のうち再利用を促進することが困難なものは、施工計画等の策定時に適切な処理先を確保しなければならない。

仮設材の運搬

仮設材の運搬については、積算上、運搬距離10kmを見込んでいる。運搬距離については、積算参考条件として明示しているものであり、受注者が実施する条件と異なる場合においても設計変更の対象とはしない。

履行報告

工事履行報告書を作成し、工程表及び工事状況写真を添付し、毎月末に監督員に提出すること。

交通誘導警備員、安全管理、安全教育

- 安全対策については、交通誘導警備員を計上している。道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果により変更等が生じた場合は監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。また、条件変更及び受注者にて特に必要と認めた場合は、その対策等について監督員と協議するものとし、設計変更の対象とするが、出来高に合わせた変更は行わない。
- 標識類、防護柵等の安全施設類については、現場条件に応じて設置する他、道路管理者及び所轄警察署と打合わせを行い実施するものとする。なお、打合わせの結果又は条件変更等に伴い、道路保安施設設置基準(案)以上の保安施設類が必要な場合、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

- ☑ 交通誘導警備員については、作業時間中（調査・測量時期は除くが試掘調査時は配置）配置すること。なお、現場状況及び関係機関との調整によりこれによりがたい場合は、監督員と別途協議することとし、設計変更の対象とする。また、工事関係車両や歩行者安全通路の適切な管理・誘導を行うこと。昼休みなども交替で休憩をとり安全対策を怠らないこと。

- ☑ 交通誘導警備員の1日当たりの配置人数は、下記のとおりとする。

交通誘導警備員B 3名、交替要員B1名

合計4名

交通誘導警備員A

警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第1項第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員

交通誘導警備員B

警備業者の警備員で、交通誘導警備員A以外の交通の誘導に従事するもの

交替要員

昼休みなどの休憩中も交替で交通誘導を行うものとし、現場の必要配置人数とは別に計上するもの。積算単価は交通誘導員B。

- ☑ 受注者は下記の書類の何れかを確認後、現地に従事する者の名簿を作成し監督員に提出するものとする。

- ・交通誘導警備検定合格証（写し）

- ・警備員指導教育責任者資格者証（写し）

- ・指定講習修了証明書（写し）

- ・警備業法施行規則 第二十六条第二項に定める基本教育、及び同条第2項、第3項に定める業務別教育（警備業法第二条第一項第二号の警備業務）を受講したことを証明する警備員名簿及び教育実施状況等の写し、及び交通誘導に関する警備業務に従事した期間（実務経験）が1年以上であることを証明する書類

- ☑ 全作業員を対象とし、次の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全教育・研修訓練を行うものとする。なお、工事期間中月1回(半日)以上実施し監督員に報告書を提出するとともに、その実施状況については、工事報告等に記録した資料を提出すること。また、安全教育・研修訓練に要する必要な費用(労務者の日当)は、現場管理費の中に含んでいる。

- ① 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育

- ② 当該工事内容等の周知徹底

- ③ 土木工事安全施工技術指針等の周知徹底

- ④ 当該工事における災害対策訓練

- ⑤ 当該工事現場で予想される事故対策

- ⑥ その他、安全・訓練等として必要な事項

- ☑ 各工事中のすりつけ及び段差表示、夜間照明等安全対策は、特に徹底すること。

- ☑ 工事中の仮区画線の明示・工事予告看板の設置も徹底すること。

☑ 掲示物

以下の項目については、工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示すること。

- ☑ 建設業許可の標識掲示

- ☑ 施工体系図の掲示

- ☑ 建設業退職金共済制度適用事業主工事現場の標識掲示（掛金収納書の提出要）

- ☑ 労災保険関係成立票の掲示

- ☑ 緊急連絡体制の掲示

☑ 備品

以下の項目については、現場事務所内に備えつけること。

- ☑ 施工体制台帳

- ☑ 新規入場者教育記録

- ☑ 受注者の安全巡視、KY活動の記録

☑ 緊急時の連絡体制の作成

年末年始、夏期休暇等により長期間現場の作業を休止する場合は、事前に緊急時の連絡体制についての説明書を作成し、監督員に提出すること。

また、大雨時及び台風上陸予定時も上記と同様の扱いとする。

☑ 工程管理

工程管理については計画工程に基づき実施工程、出来高曲線について管理すること。

☑ 写真管理

工事写真の管理については、写真管理基準(土木工事施工管理基準)に準じるものとし、デジタル写真で提出する場合は、デジタル写真管理情報基準(案)に準じること。

☑ 品質管理

☑ コンクリート工場、水セメント比、少量の打設、二次製品

適マーク取得工場に限定する。

鉄筋コンクリートについては55%以下、無筋コンクリートについては60%以下とする。

底部(インバート)工、既設人孔連絡工等における少量のレディーミクストコンクリートの規格については、積算時における参考の条件として明示している。請負者は、止水性、施工性の良い適切な材料を選定し、施工計画書に含め、監督員と協議すること。なお、受注者の選定した材料が、積算参考条件と異なる場合においても設計変更の対象とはしない。

セメントコンクリート二次製品の品質確認は、兵庫県ホームページ「ホーム > まちづくり・環境 > 設計・工事 > 制度・基準 > 土木の技術管理に関する事」に記載される「セメントコンクリート二次製品の取扱要領」に基づき実施すること。

☑ 再生切込砕石、粒調砕石の修正CBR値

30%以上、80%以上とする。

☑ 境界ブロック

下水汚泥溶融スラグを用いたコンクリートにより製作された製品とする。

☑ 現場密度試験

舗装工、路盤工の『現場密度の測定』の試験は、1,000㎡につき1個とし、施工面積が2,000㎡未満の場合の規格値はX3の場合の規格値とする。施工面積が500㎡未満においては、実績や定期試験で得られている基準密度の試験結果を提出することにより、『現場密度の測定』の試験を省略できるものとする。ただし、道路管理者および監督員の指示による場合は試験を実施すること。

☑ 使用材料一般

☑ 日本下水道協会(JSWAS)、日本水道協会(JWWAS)の規格認定品については、認定書等により、使用する製品が認証製品であることを確認することとし、材料の試験成績表等の品質証明書の提出(『使用材料承諾願』への添付)は不要とする。

□ 埋戻土については、試掘にて掘削箇所の土砂を採取し、別添「埋戻し工に関する仕様書」に基づき土質試験を実施し、その結果、掘削土を埋戻土として使用が可能な場合は設計変更の対象とする。

☑ 人孔

☑ 人孔接合部の使用材料については、ジョイントブーツを使用すること。使用箇所は監督員に確認すること。

☑ ブロック人孔設置における調整ブロックは、2個以上かつ合計10cm以上25cm以下にて設置すること。

☑ 鉄蓋据付時には、調整モルタルとして無収縮モルタルを使用し、本市の施工マニュアルに基づいて施工すること。

☑ 鉄蓋表面(蓋裏も含む)及び受枠に補修剤を塗装する場合は、ポキシアクリル樹脂を主成分とした塗料もしくは、鋳鉄用の黒ワズを使用すること。

☑ 耐スリップ型マンホール蓋の使用箇所については監督員に確認すること。

☑ 副管設置箇所については、監督員に確認すること。

- ☑ **舗装復旧**
 - ☑ 舗装復旧工事における復旧範囲及び舗装構成については、市道管理者と立会をし決定すること。
 - ☑ 路盤での交通開放は行わないものとし、本復旧が不可能な場合は監督員と協議すること。

- ☑ **地域への配慮**
 - ☑ 本工事区域は一般家屋及び店舗が建ち並ぶ区域のため、低騒音、低振動、排出ガス対策等を施した建設機械を使用するとともに、迂回路対策等を適切に行うこと。
 - ☑ ダンプトラックの過積載や積みこぼしのないことは勿論のこと、作業終了時における清掃も怠らないようにすること。

- ☑ **官民境界付近での施工**
 - ☑ 公道と民地の境界が明確でない箇所について、本工事の施工により民地側に影響を与える恐れがある場合、あらかじめ所有者の承諾を得たうえで工事をおこなうこと。また、工事終了時に所有者の承諾のもと、復旧を行うこと。

- ☑ **完成図書等**
 - ☑ 図面はA1（B5折り）で提出すること。
 - ☑ 発注用のCADデータを貸与するので完成図をCADデータで提出すること。
CADデータは、AutoCAD形式（拡張子：dwg）にて貸与する。
CADデータの変換が必要な場合は、受注者の責において対応すること。
 - ☑ 工事写真においてデジタル版を各工種毎に1部整理して別綴で提出すること。
 - ☑ 保存バインダーや保存箱は、金属金具等を使用していない可燃性のものとする。

- ☑ **架空線（関西電力）の防護管取付け**
 - ☑ 関西電力が保有する架空線等に防護管の設置が必要な場合は、防護管施工会社へ申込みの上、監督員とともに防護管施工会社と立会を行い、防護管の必要範囲を決定すること。また、防護管施工会社より見積書及び請求書を受領した際は、その写しを監督員へ提出し確認を受けること。

- ☑ **その他特記事項**
 - ☑ 本工事については、他工事との現場代理人の兼務を認める。
 - ☑ 近接工事として、明石下水道整備課発注の山下町(4工区)雨水管布設工事がある。交通規制及び近接箇所を施工する際は各工事の支障がないよう、調整のもと行うこと。

☑ 埋戻し工に関する仕様書

- 発生土の効率的な利用を図るため、「発生土利用基準について」（平成18年8月10日付 国官技第112号、国官総第309号、国営計第59号）に基づき、下記試験を実施し、土質区分の判定を行うものとする。

- ・ 締固めた土のコーン指数試験（JIS A 1228）
- ・ 土の含水比試験（JIS A 1203）
- ・ 土の粒度試験（JIS A 1204）
- ・ 土の液性限界・塑性限界試験（JIS A 1205）

上記試験の結果、第1種及び第2種建設発生土に区分された土（適用用途：工作物の埋戻し）をCBRの指定がある道路（明石市道及び法定外道路など）に利用しようとする場合は、下記試験を実施する。

- ・ CBR試験（JIS A 1211）

CBRの指定がない道路に利用しようとする場合及び、上記試験の結果、指定されたCBRを満足した場合は、発生土を埋戻土として利用するものとし、下記試験を実施する。

- ・ 突固めによる土の締固め試験（JIS A 1210）

なお、追加実施した試験に要する費用は設計変更の対象とする。

☑ 埋戻し土の品質管理について

現場密度の測定は下記のいずれかを実施すること。なお、試験位置、時期及び試験基準については監督員と協議し試験を実施すること。（平成26年10月適用）

「品質管理基準」

試験項目	試験方法	品質規格値
現場密度の測定	最大粒径 ≤ 53mm :	土木工事施工管理基準（平成26年10月）
	砂置換法 JIS A 1214	品質管理基準及び規格値
	最大粒径 > 53mm :	21道路土工 参照
	突砂法（舗装調査・試験法便覧[4] - 185）	

試験基準

路体の場合、1,000m³につき1回の割合で行う。ただし、5,000m³未満の工事は、1工事当たり3回以上。路床及び構造物取付け部の場合、500m³につき1回の割合で行う。ただし、1,500m³未満の工事は1工事当たり3回以上。1回の試験につき3孔で測定し、3孔の最低値で判定を行う。

※ 試験に要する費用は、受注者の負担とする。

- ☑ 管の天端または暗渠のスラブ天端から30cmは、管渠に衝撃を与えないよう注意しながら、両側同時に埋め戻し、一層の厚さが20cmを超えない範囲で一層毎に木蛸の類により十分に締め固めること。砂あるいは水砕スラグを用いる場合には良質のものを用い、水締め等を行って、管の下端へ十分に砂が回り込むようにし、管に点荷重がかからないように均一に締固め布設すること。
- ☑ 前項の埋戻しが完了した後、人力又は掘削機械等により管渠に影響を与えないよう土砂を投入し、これを人力により敷き均し、一層の厚さが20cmを超えない範囲で一層毎にタンバ等を用いて十分に締め固めること。なお、機械による埋戻しについては、管の天端より30cmを超え100cmまでは投入高を50cm以下とし、それを超える部分の投入高は、150cm以下とする。
- ☑ 掘削溝内に埋設物がある場合には、埋設物管理者との協議に基づく防護を施し、埋設物付近の埋戻し土が将来沈下しないようにすること。
- ☑ 掘削幅が広く、支保工に支障がなく掘削溝に露出した埋設物を損傷する恐れがない場合には、ブルドーザーにより転圧することができる。この場合においても、一層の厚さが30cmを超えない範囲で一層毎に転圧すること。
- ☑ 土留め矢板の引抜きは、埋戻し土の安定を待って徐々に行うよう方法が望ましいが、この方法が困難な場合には、数本おきに矢板を引抜き、引抜き時の空洞には砂等を充てんし、ゆるみが生じないように施工すること。
- ☑ 埋戻し路床の仕上面は、均一な支持力が得られるよう施工し、道路占用許可条件に従わなければならない。なお、監督員が必要と認めて指示する試験は行わなければならない。
- ☑ 埋戻し後、舗装復旧までの期間は常に埋戻し路面の点検を行い、維持補修を行わなければならない。

☑ 局地的な大雨に関する 下水道工事管渠内工事等安全対策に関する仕様書

※対象作業：雨水が流入する下水道管渠内に作業員が入坑して行う作業全般
(工事・調査・点検・清掃等)

以下の内容を踏まえた施工計画書を作成し、監督員の確認を得るとともに、その内容について、作業関係者全員に周知徹底を図ること。

☑ 現場特性の事前把握について

工事着手前には、当該作業箇所に係る現場特性に関する資料や情報を収集分析し、急激な増水による危険性等をあらかじめ十分に把握すること。

- ・下水道管渠施設情報（平面図・縦断図、流量計算表）
- ・現場付近の浸水被害、既往事故、地形情報、ハザードマップなどの既往情報
- ・その他、ポンプ施設やビルピット排水の有無の確認、また、その施設の運転情報

☑ 標準的な工事の中止（再開）基準の設定について

下記のいずれかが該当する場合は、工事を中止すること。

標準的な工事等の中止基準

- ①当該作業箇所または上流部に洪水または大雨の注意報・警報が発表された場合
- ②当該作業箇所または上流部に降雨や雷が発生している場合

なお、小雨が降り始めた場合などのあいまいな天候状況であっても、作業を一時中断し、作業員を地上に退避させてから工事中止の判断の検討を行うこと。

また、天候の回復による工事再開は、監督員に確認すること。

☑ 現場特性に応じた工事等の中止（再開）基準

標準的な工事等の中止基準を踏まえ、工事等の箇所毎に現場特性に応じた中止基準を設定すること。

中止基準を強化すべき現場

- ①退避時間が長い（作業箇所が人孔から離れている等）
- ②退避条件が厳しい（人孔蓋を開放しておけない等）
- ③急激な増水特性が予想される（流達時間が短い、水位が高い等）
- ④気象情報が入手しにくい
- ⑤夜間の工事等で天候の状況がわかりにくい
- ⑥水替えなど等の増水緩和対策や十分な流出防止策を講じることができない。

☑ 迅速に退避するための対応

工事等を着手する前には、作業員が安全かつ迅速に退避できるよう、あらかじめ退避時の対応方策について、以下の点について具体的に内容を定めておくこと。

- ①退避手順の設定
- ②安全器具等の設置
- ③情報収集と伝達方法
- ④資機材の取扱い

※参照：局地的な大雨に対する下水道管渠内工事等安全対策の手引き（案）平成20年10月

(URL:<http://www.mlit.go.jp/common/000025094.pdf#search=>)

令和 4年度 工事成績優良業者対象工事
山下町(5工区)雨水管布設工事

見積参考図書
(当初設計)

工事番号

路線名等

工事箇所 明石市山下町 地内

工 種

総括情報表

単価適用年月日	0-04.05.01(0)		
工種区分 (公共) 施工地域区分	今回 15 下水道 (2) 35 一般交通影響有り (2) - 2	前回	前回

工事費内訳書

頁0-0002/0157

	費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						
管路						
管きょ工 (管径500mm)		(54.0)	m			
管路土工						
管路掘削						
管路埋戻		1	式			工種 第0001号明細表
発生土処理		1	式			工種 第0002号明細表
管布設工		1	式			工種 第0003号明細表
硬質塩化ビニル管						
		1	式			工種 第0004号明細表

工事費内訳書

頁0-0003/0157

費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
管基礎工										
砂基礎										
管路土留工	1			式						工種 第0005号明細表
アルミ板土留										
土留支保工	1			式						工種 第0006号明細表
鋼材賃料	1			式						工種 第0007号明細表
管きよ工 (管径700mm)	1			式						工種 第0008号明細表
管路土工		(54.0)		m						
管路掘削										
	1			式						工種 第0009号明細表

工事費内訳書

頁0-0004/0157

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
管路埋戻	1		式			工種 第0010号明細表
発生土処理	1		式			工種 第0011号明細表
管布設工						
強化プラスチック複合管	1		式			工種 第0012号明細表
管基礎工						
砂基礎	1		式			工種 第0013号明細表
管路土留工						
アルミ矢板土留	1		式			工種 第0014号明細表
土留支保工	1		式			工種 第0015号明細表

工事費内訳書

頁0-0005/0157

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼材賃料						
	1		式			工種 第0016号明細表
マンホール工						
	(2)		箇所			
組立マンホール工						
組立1号マンホール						
	1		式			工種 第0017号明細表
組立2号マンホール						
	1		式			工種 第0018号明細表
取付管およびます工						
	(16)		箇所			
管路土工						
管路掘削						
	1		式			工種 第0019号明細表
管路埋戻						
	1		式			工種 第0020号明細表

工事費内訳書

頁0-0006/0157

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生土処理						
	1		式			工種 第0021号明細表
取付管布設工						
取付管(塩ビ管)						
	1		式			工種 第0022号明細表
付帯工						
人孔付帯工						
既設人孔連絡工						
	1		式			工種 第0023号明細表
舗装仮復旧工						
仮復旧						
	1		式			工種 第0024号明細表
舗装撤去工						

工事費内訳書

頁0-0007/0157

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断						
	1		式			工種 第0025号明細表
舗装版破碎						
	1		式			工種 第0026号明細表
殻運搬処理						
	1		式			工種 第0027号明細表
舗装復旧工						
不陸修正						
	1		式			工種 第0028号明細表
上層路盤						
	1		式			工種 第0029号明細表
表層						
	1		式			工種 第0030号明細表
区画線工						
熔融式区画線						
	1		式			工種 第0031号明細表

工事費内訳書

頁0-0008/0157

	費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
	仮設工						
	交通管理工						
	交通誘導警備員						
		1		式			工種 第0032号明細表
	直接工事費計						
	共通仮設費計						
	運搬費						
				式			
	仮設材運搬費						
		1		式			工種 第0033号明細表
	共通仮設費率分						
				式			
	純工事費計						

工事費内訳書

頁0-0009/0157

	費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場管理費				式			
工事原価計							
一般管理費等				式			
工事価格							
消費税相当額				式			
合 計							

工事費内訳書

頁0-0010/0157

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
付帯工事費(1)						
管路						
マンホール工						
組立マンホール工						
既設人孔蓋取替工						
付帯工	1		式			工種 第0034号明細表
舗装仮復旧工						
仮復旧						
舗装撤去工	1		式			工種 第0035号明細表

工事費内訳書

頁0-0011/0157

費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
舗装版切断	1			式						工種 第0036号明細表
舗装版破碎	1			式						工種 第0037号明細表
殻運搬処理	1			式						工種 第0038号明細表
舗装復旧工	1			式						工種 第0039号明細表
不陸修正	1			式						工種 第0040号明細表
上層路盤	1			式						工種 第0041号明細表
表層	1			式						工種 第0042号明細表
区画線工	1			式						工種 第0042号明細表
熔融式区画線	1			式						工種 第0042号明細表

工事費内訳書

頁0-0012/0157

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
既設構造物撤去工						
管路掘削						
	1		式			工種 第0043号明細表
既設管撤去						
	1		式			工種 第0044号明細表
管路埋戻						
	1		式			工種 第0045号明細表
発生土処理						
	1		式			工種 第0046号明細表
仮設工						
交通管理工						
交通誘導警備員						
	1		式			工種 第0047号明細表
直接工事費計						

工事費内訳書

	費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費計							
準備費							
試掘調査工				式			
共通仮設費率分				式			工種 第0048号明細表
純工事費計				式			
現場管理費							
工事原価計				式			
一般管理費等							
工事価格				式			

工事費内訳書

頁0-0015/0157

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
附帯工事費(2)						
発掘調査						
埋蔵文化財調査工	(118.8)	m2		
調査土工						
調査掘削						
	1		式			工種 第0049号明細表
調査埋戻						
	1		式			工種 第0050号明細表
発生土処理						
	1		式			工種 第0051号明細表
調査工						
埋蔵文化財調査						
	1		式			工種 第0052号明細表

工事費内訳書

頁0-0016/0157

	費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
	付帯工						
	舗装仮復旧工						
	仮復旧						
	仮設工	1		式			工種 第0053号明細表
	交通管理工						
	交通誘導警備員						
		1		式			工種 第0054号明細表
	直接工事費計						
	共通仮設費計						
	準備費			式			

工事費内訳書

頁0-0017/0157

	費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
試掘調査工				式			工種 第0055号明細表
共通仮設費率分				式			
純工事費計							
現場管理費				式			
工事原価計							
一般管理費等				式			
工事価格							
消費税相当額				式			
合 計							

工種明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
残塊処分工（アスファルト） 直接	2	m3			代価 第0001号内訳表
残土処分工（土砂） 直接（下水）	107	m3			代価 第0003号内訳表
合計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
組立マンホール設置工 1号 マンホール深さ3m以下	1	箇所			施工 第0-0026号内訳表
車道用 デザイン蓋・枠 T-14 φ600	1	個			
蓋取付ボルト 300mm (3ヶ1組) 調整ブロック200mm用	1	セット			
調整リング 組立式(V型) 600×50mm	1	個			
調整リング 組立式(V型) 600×150mm	1	個			
転落防止はしご	1	台			
1号斜壁 組立式(V型) 600×900×600mm	1	個			
1号底付 900×1000mm	1	個			
底部工 [組立式]	1	箇所			施工 第0-0027号内訳表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
組立マンホール設置工 2号 マンホール深さ4m以下	1	箇所			施工 第0-0031号内訳表
削孔代組立式(V型) φ500mm用	1	箇所			
車道用 デザイン蓋・枠 T-14 φ600	1	個			
蓋取付ボルト 250mm (3ヶ1組) 調整ブロック150mm用	1	セット			
調整リング 組立式(V型) 600×80mm	1	個			
調整リング 組立式(V型) 600×50mm	1	個			
転落防止はしご	1	台			
2号床版ブロック 200×600×1440mm	1	個			
2号底付 1200×1900mm	1	個			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材等の積込み・取卸し 〔積込み取卸し(往復分)〕	1.6	t			施工 第0-0053号内訳表
仮設材等の運搬 製品長->12m以内	1.6	t			施工 第0-0054号内訳表
仮設材等の運搬 製品長->12m以内	1.6	t			施工 第0-0054号内訳表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
蓋(受枠とも)及び調整コンクリートブロック撤去工	2	箇所			施工 第0-0055号内訳表
蓋(受枠とも)及び調整コンクリートブロック据付工 無収縮モルタル有 平均調整高さH=30mm	2	箇所			施工 第0-0056号内訳表
車道用 デザイン蓋・枠 T-14 φ600	2	個			
転落防止はしご	2	台			
調整リング 組立式(V型) 600×80mm	1	個			
蓋取付ボルト 100mm (3ヶ1組) 調整ブロックなし用	1	セット			
蓋取付ボルト 200mm (3ヶ1組) 調整ブロック100mm用	1	セット			
合計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
区画線設置 [熔融式] 実線 15cm t=1.5mm	142	m			施工 第0-0047号内訳表
区画線設置 [熔融式] 矢印・記号・文字 15cm換算 t=1.5mm	64	m			施工 第0-0059号内訳表
区画線設置 [熔融式] 実線 30cm t=1.5mm	1	m			施工 第0-0062号内訳表
区画線設置 [熔融式] 実線 15cm t=1.5mm	2	m			施工 第0-0065号内訳表
樹脂系すべり止め舗装工 RPN-301	95	m ²			施工 第0-0050号内訳表
合計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
残塊処分工(アスファルト)					
小規模	0.3	m3			代価 第0002号内訳表
残土処分工(土砂)					
小規模	2	m3			代価 第0004号内訳表
残塊処分工(鉄筋コンクリート)					
直接	0.3	m3			代価 第0005号内訳表
廃プラスチック処分工					
直接	0.08	t			代価 第0006号内訳表
合 計	1	式			

残土処分工 (土砂)

代 価 表

頁0-0078/0157

代価 第0003号内訳表

直接 (下水)

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運搬 土砂	1	m3			施工 第0-0004号内訳表
処分費 土砂 (有リテラ)	1	式			施工 第0-0006号内訳表
単 位 当 り	1	m3			

積算単価算出表

標準単価	代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K							
R1	運転手(一般)			運転手(一般)			
R							
Z1	軽油 1.2号 ハートル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 2t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K							
R1	運転手(一般)			運転手(一般)			
R							
Z1	軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							

土砂等運搬

[規格1] 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0007号内訳表

頁0-0087/0157

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 4t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K							
R1	運転手(一般)			運転手(一般)			
R							
Z1	軽油 1.2号 ハートル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							

殻運搬

[規格1] コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0009号内訳表

頁0-0089/0157

m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正構成比	備考
K1	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K							
R1	運転手(一般)			運転手(一般)			
R							
Z1	軽油 1.2号 ハートル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							

積算単価算出表

標準単価	代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	コンクリート圧砕機(単体) [大割機] 開口幅735~850mm 破碎力550~980kN			バックホウ用アタッチメント			
K2	バックホウ 山積0.45m3(平積0.35m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含)			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		タンパ及びランマ 質量60~80kg			タンパ(ランマ)			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z								
					計			
積算単価 =								

施工単価表

施工 第0-0018号内訳表

頁0-0097/0157

硬質塩化ビニル管布設工

[規格1]径 500mm

[規格2]管材料 計上する

[摘要]

10

m 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質塩化ビニル管(ゴム輪片受直管) 径500mm×厚14.6mm×4m		本			
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホ運転 (賃料)		日			
諸雑費		%			
合 計	10	m			
単 位 当 り	1	m			

施工単価表

施工 第0-0024号内訳表

頁0-0102/0157

強化プラスチック管布設工

[規格1]径 700mm

[規格2]管材料 計上する

[摘要]

10

m

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
強化プラスチック複合管 (FRPM) 外圧2種管 径700mm×4000mm		本			
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホ運転 (賃料)		日			
諸雑費		%			
合 計	10	m			
単 位 当 り	1	m			

積算単価算出表

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 18-8-40BB 水セメント比60%以下			
Z								
					計			
積算単価	=							

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		セメント 高炉B 25kg袋入			高炉セメント(B種)			
Z2		砂 細目(洗い)			砂 洗砂			
Z								
					計			
積算単価 =								

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		小型バックホウ積0.13m3(平積0.10m3) [クローラ型・排出ガス型(第2次基準値)]			小型バックホウ(クローラ型)			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハートル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								

床掘り
[規格1] 土砂 上記以外(小規模)

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0034号内訳表

頁0-0112/0157
m3 当り

1

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホ(クローラ型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型・排ガス(第2次)]			バックホ(クローラ型)			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								

埋戻し
[規格1] 上記以外(小規模) 土砂

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0036号内訳表

頁0-0114/0157
m3 当り

1

[摘要]

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホ(クローラ型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型・排ガス(第2次)]			バックホ(クローラ型)			
K2	タンパ及びランマ 質量60~80kg			タンパ及びランマ			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z2	ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z							
				計			
積算単価 =							

積算単価算出表

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 18-8-20BB 水セメント比60%以下			
Z								
					計			
積算単価 =								

型枠
[規格1] 一般型枠

[規格2] 小型構造物

積算単価算出表

施工 第0-0040号内訳表

頁0-0118/0157
m2 当り

標準単価	代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K							
R1	型わく工			型わく工			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z							
				計			
積算単価 =							

基礎砕石

[規格1] 砕石厚->12.5cmを超え17.5cm以下

[規格2] 再生クラッシャー RC-30, RC-40

積算単価算出表

施工 第0-0041号内訳表

頁0-0119/0157

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含)			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		再生クラッシャー RC-40			再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								

表層(車道・路肩部)
[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0042号内訳表

頁0-0120/0157
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイド式]			振動ローラ(舗装用)			
K2	振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンパクタ			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	アスファルト混合物 密粒度AS混合物(20) t=50mm			密粒度アスファルト混合物(再生材) TOP13			
Z2	ガソリン レキユール スタンド			レキユールガソリン			
Z3	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							

舗装版切断(アスファルト舗装版)
[規格1] As舗装版厚->15cm以下

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0043号内訳表

頁0-0121/0157
m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		コンクリートカッタ 切削深20cm級 [バキューム式・湿式]			コンクリートカッタ			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		コンクリートカッタ(プレート) 径22インチ			舗道版切断 カッタープレート			
Z2		カソリン レギュラー スタンド			レギュラーカソリン			
Z								
					計			
積算単価 =								

不陸整正

[規格1] 補足材料->有り (29mm以上34mm未満)

[規格2] 粒調碎石 M-25, M-30, M-40

積算単価算出表

施工 第0-0044号内訳表

頁0-0122/0157

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	モータグレーダ フレート幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)]			モータグレーダ			
K2	ロッドローラ 質量10t [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)]			ロッドローラ			
K3	タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含)			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	普通作業員			普通作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生クラッシャーラン RC-40			粒調碎石 (0~25mm・0~30mm・0~40mm)			
Z2	軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							

上層路盤(車道・路肩部)
 [規格1] 粒調碎石 M-25, M-30, M-40

[規格2] t = 100mm

積算単価算出表

施工 第0-0045号内訳表

頁0-0123/0157
 m2 当り

標準単価	代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	モータローラ フレート幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)]			モータローラ			
K2	ロータ質量10t [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)]			ロータ			
K3	タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含)			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	普通作業員			普通作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生粒度調整碎石 RM-40 全厚t=150mm			粒調碎石 (0~25mm・0~30mm・0~40mm)			
Z2	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							

表層(車道・路肩部)
[規格1] t=50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0046号内訳表

頁0-0124/0157
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	アスファルトフィニッシャ 舗装幅2.3~6.0m [ホイール型] 排出ガス対策型含			アスファルトフィニッシャ(排出ガス対策型含)			
K2	ロードローラ 質量10~12t [マカダム] 排出ガス対策型含			ロードローラ(排出ガス対策型含)			
K3	タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含)			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	アスファルト混合物 密粒度AS混合物(20) t=50mm			密粒度アスファルト混合物(再生材) TOP13			
Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3(プライムコート用)			
Z3	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							

施工単価表

施工 第0-0049号内訳表

頁0-0128/0157

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	単価	金額	備考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg			
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg			
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			
軽油		L			
諸雑費		%			
合 計		m			
単 位 当 り	1	m			

舗装版切断(アスファルト舗装版)
[規格1] As舗装版厚->15cm以下

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0058号内訳表

頁0-0137/0157
m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		コンクリートカッタ 切削深20cm級 [バキューム式・湿式]			コンクリートカッタ			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		コンクリートカッタ(プレート) 径22インチ			舗道版切断 カッタープレート			
Z2		カソリン レギュラー スタンド			レギュラーカソリン			
Z								
					計			
積算単価 =								

施工単価表

施工 第0-0061号内訳表

頁0-0140/0157

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg			
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg			
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			
軽油		L			
諸雑費		%			
合 計		m			
単 位 当 り	1	m			

1000 m 当り

施工単価表

施工 第0-0064号内訳表

頁0-0143/0157

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg			
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg			
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			
軽油		L			
諸雑費		%			
合 計		m			
単 位 当 り	1	m			

1000 m 当り

施工単価表

施工 第0-0066号内訳表

頁0-0145/0157

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1]	[規格2]	[摘要]	1000	m	当り
名称・規格	数	量	単	価	金 額 備 考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 黄 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0 鉛・クロムフリー		kg			
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg			
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			
軽油		L			
諸雑費		%			
合 計		m			
単 位 当 り	1	m			

施工単価表

施工 第0-0069号内訳表

頁0-0148/0157

試掘調査工

[規格1]	[規格2]	[摘要]	1	箇所	当り
名称・規格	数	量	単	位	単 価 金 額 備 考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	6	m			施工 第0-0043号内訳表
舗装版破碎積込(小規模土工)	2	m ²			施工 第0-0033号内訳表
床掘り 土砂 現場制約あり	2.9	m ³			施工 第0-0070号内訳表
埋戻し 小規模土工 材→再生切込砕石	1.4	m ³			施工 第0-0035号内訳表
埋戻し 小規模土工 材→砂	1.3	m ³			施工 第0-0071号内訳表
殻運搬 舗装版破碎	0.1	m ³			施工 第0-0003号内訳表
処分費 アスファルト殻	1	式			施工 第0-0072号内訳表 (前田道路(株)神戸合材工場)
土砂等運搬 土質→土砂(岩塊・玉石混り土含む)	2.9	m ³			施工 第0-0007号内訳表
処分費 土砂	1	式			施工 第0-0073号内訳表 (有)ハリマ総合開発)
上層路盤(車道・路肩部) 粒調砕石 M-25, M-30, M-40 t = 100mm	2.0	m ²			施工 第0-0045号内訳表
仮復旧工 t = 50mm 密粒度アスコン[再](13)	2.0	m ²			施工 第0-0074号内訳表
単 位 当 り	1	箇所			

床掘り
[規格1] 土砂 現場制約あり

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0070号内訳表

1
頁0-0149/0157
m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイド式]			振動ローラ(舗装用)			
K2	振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンパクタ			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	アスファルト混合物 密粒度AS混合物(20) t=50mm			密粒度アスファルト混合物(再生材) TOP13			
Z2	ガソリン レキユール スタンド			レキユールガソリン			
Z3	軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							

床掘り
[規格1] 土砂 平均施工幅1m以上2m未満

[規格2] 土留->無し

積算単価算出表

施工 第0-0075号内訳表

頁0-0154/0157
m3 当り

1

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホウ 山積0.45m3(平積0.35) [クローラ型後方超小旋回型] 超低騒音型・排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含)			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							

埋戻し
[規格1] 最大埋戻幅1m以上4m未満

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0076号内訳表

頁0-0155/0157
m3 当り

1

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]			バックホウ(クローラ型)			
K2	振動ローラ(舗装用) 質量0.8~1.1t [ハンドガイト式]			振動ローラ			
K3	タンバ°及びランマ 質量60~80kg			タンバ°(ランマ)			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	軽油 1.2号 パ°トル給油			軽油			
Z2	ガ°ソリン レキ°ユラ°スタント°			レキ°ユラ°ガ°ソリン			
Z							
				計			
積算単価 =							

工事成績優良業者対象工事
山下町(5工区)雨水管布設工事

